

在宅療養者の胃瘻管理と退院指導演習の学習効果

新潟医療福祉大学看護学科・稲垣千文, 宇田優子

【背景】

看護実践論は、看護学科で修得した看護学の知識・技術を統合し、安全で確実な看護実践の能力を養うことを目標に4年次に開講し、1単位8コマのうち4コマが共通内容を全学生が受講、残りのコマを看護7領域が提供するテーマのうち、1テーマを学生が選び受講する教育形式をとっている。平成25年度では、領域ごとに担当する4コマを、地域・在宅看護学領域は、老年看護領域2コマずつ担当する形式であった。

新規の胃瘻造設は年間10万件前後¹⁾、全国に胃瘻造設高齢者は約26万人²⁾、そのうち訪問看護を利用している高齢者は、約2万8千人と推計されている。また、内閣府の平成26年度版高齢者白書³⁾では介護者の高齢化も進んでいると報告され、高齢介護者へ胃瘻の退院指導をする機会も多いと予測される。

そこで地域・在宅看護学領域では、学生が在宅療養者の胃瘻管理を学び、高齢者疑似体験キットを着用しての胃瘻管理技術の体験を通し、高齢介護者への退院指導が考察できることを学習目的に、演習を行ったので、その効果と課題について報告する。

【方法】

調査対象は、看護実践論にて、地域・在宅看護学領域の在宅胃瘻管理の講義及び演習を受講した、看護学科4年生16名である。調査方法は、演習終了後、集合式質問紙調査とした。調査内容は、講義・演習内容の理解、高齢者疑似体験キットを着用して高齢者が行う在宅での胃瘻管理の理解、高齢介護者に対する退院指導ポイントの理解、及び演習に対する学生の満足度についてである。学生の理解や満足度を4段階のリッカートにて調査し、その理由を自由記述とした。また、演習に対する意見感想を自由記述にて得た。理由や意見感想は、質的帰納的に分析を行った。

倫理的配慮は、対象学生には、調査の趣旨と自由参加であり、調査参加の有無は成績に無関係である旨の説明を、紙面と口頭にて行い、参加同意を紙面への署名にて得た。また、調査票は個人が特定されないように無記名とした。

【結果】

受講した学生15名より研究同意を得た。アンケートは演習内容の理解度や満足度を「4:よく理解できた。よく満足できた。」から「1:理解できなかった。満足できなかった。」の4段階にて問うものである。

アンケートの結果では、胃瘻や在宅での管理について「理解できた(回答平均=3.40~3.67)」との回答であったが、高齢介護者に対する胃瘻管理の退院指導のポイントについては、「あまり出来なかった(回答平均=2.87)」であった。(表-1)「あまり出来なかった」とする理由は、表-2のとおりである。

表-1 在宅療養者の胃瘻管理演習後アンケート結果 n=15 回答平均

質問1: 胃瘻について理解できましたか	3.67
質問2: 在宅での胃瘻管理について理解できましたか	3.40
質問3: 高齢者疑似体験を通して、高齢者が行う胃瘻管理についてイメージできましたか	3.47
質問4: 高齢介護者に対する胃瘻管理の退院指導のポイントを考える事は出来ましたか	2.87
質問5: 演習内容は、あなたの知識習得意欲や興味関心を満足させるものでしたか	3.60

表-2 あまり出来なかったとする理由

「実技をする事に精一杯で十分に考えることが出来なかった」
「考察する時間が欲しかった」
「具体的に考えることが必要であった」
「具体的な指導の注意点が良く分からなかった」

【考察】

アンケートより、在宅療養者に対し、安全で確実な胃瘻管理の知識・技術は学べていたが、高齢介護者への退院指導は、あまり学べていない結果であった。演習では、手技を重点的に行い、高齢介護者へ退院指導については、ポイントを講義として行っていた。あまり学べなかった理由として、「実技することに精一杯で十分に考えることができなかった」「考察する時間が欲しかった」等、実技と、考察をわけ、時間を設ける必要があったことが明らかとなった。さらに、退院指導のポイントを「具体的に考えることが必要であった」と事例検討の必要性を理由として挙げている。田中は、学習者を真正(リアル)な課題に取り組みさせることにより、生きて働く学力が形成されると述べている⁴⁾。演習におけるリアルな課題とは、事例検討であり、その必要性が今回の調査にて明らかとなった。

【結論】

地域・在宅看護学領域で行った在宅療養者の胃瘻管理演習において、高齢介護者に対する退院指導の実践能力獲得、及び向上のためには、講義と手技の演習だけではなく、事例を設定し、事例に沿った退院指導を検討考察する必要性が明らかとなった。

【文献】

- 1) 望月弘彦: これからの栄養管理を考える 経管栄養の知識とトラブル対策 特集にあたって. 臨床看護臨時増刊号 Vol. 38 No. 4 2012. 3 387-389
- 2) 胃瘻造設高齢者の実態把握及び介護施設・在宅における管理等の在り方の調査研究報告書. 社団法人全日本病院協会 平成23年3月 222-225
http://www.ajha.or.jp/voice/pdf/other/110416_1.pdf
- 3) 内閣府 平成26年版 高齢社会白書(概要版)
http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2014/gaiyou/pdf/1s2s_2.pdf H26. 8. 23 閲覧
- 4) 田中耕治他: 新しい時代の教育課程. 第3版. 東京 有斐閣 2011